アッラーは仰った：「サラー（礼拝）はわれと、わが僕の間で２つに分けられた。そしてわが僕には、彼が願うものがある

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言った：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞いた： アッラーは仰った：「サラー（礼拝）はわれと、わが僕の間で２つに分けられた。そしてわが僕には、彼が願うものがある。僕が“アルハムドゥリッラーヒ・ラッビル・アーラミーン（全創造物の主、アッラーに称賛あれ）”と唱えれば、アッラーは仰る：“わが僕はわれを称賛した。”そして彼が“アッラフマーニ・ッラヒーム（慈悲あまねく慈愛深きお方）”と唱えれば、こう仰る：“わが僕はわれを讃えた。”そして彼が“マーリキ・ヤウミッディーン（報いの日の支配者）”と唱えれば、こう仰る：“わが僕はわれを褒め称えた。”または別にこう仰る：“わが僕はわれに委任した。”そして彼が“イイヤーカ・ナァブドゥ・ワ・イイヤーカ・ナスタイーン（私たちはあなただけを崇拝し、あなただけにお力添えを乞います）”と唱えれば、こう仰る：“これはわれと、わが僕の間のこと。わが僕には彼が願うものがある。”そして彼が“イヒディナッ・スィラータル・ムスタキーム、スィラータ・ッラズィーナ・アンアムタ・アライヒム、ガイリル・マグドゥービ・アライヒム・ワラッダーッリーン（私たちを、まっすぐな道へとお導きください。あなたが恩恵をお授けになった者たち、つまり、（あなたの）お怒りを受けるでもなく、迷うでもない者たちの道へ）” と唱えれば、こう仰る：“これはわれと、わが僕の間のこと。わが僕には彼が願うものがある。”」 [صحيح] [رواه مسلم]

預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は、アッラーが聖なるハディースの中で、このように仰ったと伝えている：「サラーの中で、アル＝ファーティハ章はわれとわが僕の間で、2つに分けられた。われに半分、そして彼にもう半分という風に。」 最初の半分は、アッラーを称賛し、讃え、褒め称えることであり、それに対してわれは彼に最善のご褒美をつかわす。 もう半分は、身を低めて祈ることであり、われはそのことでかれに応じ、願うものを与えてやる。 サラーをする者が「アルハムドゥリッラーヒ・ ラッビル・アーラミーン（全創造物の主、アッラーに称賛あれ）」と唱えれば、アッラーは仰る：“わが僕はわれを称賛した。”そして彼が“アッラフマーニ・ッラヒーム（慈悲あまねく慈愛深きお方）”と唱えれば、アッラーは仰る：“わが僕はわれを讃えた。”つまり、被造物に対するあらゆる恩恵について、われを讃えた。そして彼が“マー リキ・ヤウミッディーン（報いの日の支配者）”と唱えれば、こう仰る：“わが僕はわれを褒め称えた。”つまり、われを大いなる栄誉の主として褒め称えた、ということである。 また、「イイヤーカ・ナァブドゥ、ワ・イイヤーカ・ナスタイーン（私たちはあなただけを崇拝し、あなただけにお力添えを乞います）」と唱えれば、アッラーは仰る：”これはわれと、わがしもべの間のことである。 ” つまり、このアーヤの前半部分「イイヤーカ・ナァブドゥ（私たちはあなただけを崇拝し）」はアッラーへのものである。アッラーの神性を認め、それに対して崇拝行為で応じることであり、これによってアッラーに対するこのアーヤの半分は終わる。 このアーヤの後半部分「イイヤーカ・ ナスタイーン（あなただけにお力添えを乞います）」は僕へのものである。これはアッラーからの援助を乞うものであり、アッラーはそれに応じることを約束している。 また、「イヒディナッ・スィラータル・ムスタキーム、スィラータ・ッラズィーナ・アンアムタ・アライヒム、ガイリル・マグドゥービ・アライヒム・ワラッダーッリーン（私たちを、まっすぐな道へとお導きください。あなたが恩恵をお授けになった者たち、つまり、（あなたの）お怒りを受けるでもなく、迷うでもない者たちの道へ）」と唱えれば、アッラーはこう仰る：“これはわが僕がわれに縋りつき、祈るものである。わが僕には彼が願うものがあり、われはその祈りに応じた 。”」

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/65099